

川口市小中学校の学力向上推進プラン

<指導課>

川口市は、児童生徒一人ひとりの学力向上をめざします！！

学力とは、基礎的・基本的な知識・技能の習得、それらを活用する思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む関心・意欲・態度

<川口市教育委員会の取組>

I 学力向上推進会議の開催

II 中位層・低位層の学力向上のために

小学校低学年の基礎学力
定着度調査の実施【新規事業】

各学校の補充学習への支援
【新規事業】

川口漢字チャレンジ検定
の実施【新規事業】

かわぐちっ子ワークシート
県学習プリントの活用促進

学校訪問による授業改善
・見通しと振り返りのある授業
・わかりやすい授業（構造的な板書・ICT活用等）

III 児童生徒の学習意欲の喚起のために

学力向上アイデア実践事例集の活用（200事例）

理科オリンピック
拡大実施

社会科マップコンテスト
充実開催

英語弁論大会（共催）
継続

IV 教職員の資質向上のために

教職員研修

委嘱研究

要請訪問

連携

<各学校での取組>

学力向上検証改善サイクルの確立

PLAN 7月～8月
・学力向上プランの改善

ACTION 5月～6月
・児童・生徒の学力
の課題把握

児童生徒
の
学力向上

DO 9月～2月
授業改善
・課題解決に向けた主体
的・協働的な学習
・学習意欲の喚起

校長・全教職員による取組

CHECK 3月～4月
・学習内容定着の見届け
・国・県の学力・学習状況調査結果の分析・活用

各校の課題に応じた取組

- ①ポイントを絞った授業改善（無解答率の改善・ICT活用等）
- ②夏季休業を中心とした補充学習の推進
- ③家庭学習の定着 等

川口市児童生徒の課題

- 中位層・低位層の学力向上
- 児童生徒の学習意欲の喚起

小学校低学年基礎学力定着度調査 **新規事業**

対 象：小学校2年生及び3年生 全児童

実施日：平成28年4月14日（木）

内 容：「読む・書く」「計算」各20問（各5点）
平成25年度まで実施した「教育に関する3つの達成目標」と同等レベルの問題

目 的：前年度の学習内容の習得状況を把握し、
低学年での学習のつまずきに早期に対応
することで、当該学年の学習がスムーズ
にスタートできるようにする。

効 果：前年度の履修状況を学年当初に把握する
ことで、個別の対応や児童の実態を踏ま
え、授業改善に生かすことができた。ま
た、年度当初の児童の学習意欲が高まっ
た。

		市平均正答率 (%)	80点以上の児童 (%)
2年生	国語	92.6	93.2
	算数	96.5	97.5
3年生	国語	85.0	73.9
	算数	94.4	94.7

各学校の補充学習への支援 **新規事業**

対象：全小中学校

内容：夏季・冬季休業中や放課後を活用した補充
学習を各学校で計画的に実施する。

支援：①中学生学力アップ教室（国・数・英）
中学3年生を対象に、土日・冬季休業期間
に、学習支援ボランティアを活用した補
充学習を実施
②小・中学校での補充学習において、市教
委作成の算数・数学学習プリントを活用
③中学校に、市立3高の高校生を学習支援
ボランティアとして派遣

（6中学校に16名）

効果：個に応じた補充学習を行うことで、国語・
算数・数学を中心に基礎学力が定着した。

川口漢字チャレンジ検定 **新規事業**

対象：小学校1年生～6年生 全児童

（平成29年度より中学生も実施予定）

内容：1月を「市内漢字チャレンジ月間」とし、
市内全小学校で漢字の学習に取り組む。2
月上旬に検定試験を実施し、合格者に検定
証を授与

効果：全児童生徒の漢字力向上を図り、国語にお
ける基礎学力向上の基盤となる。